

第20回 地区茶の湯研修会 報告

前橋東 RC 茶の湯倶楽部
幹事 大本 計馬



去る5月15日(土)五月雨の季節にもかかわらず初夏の様な暖かさと太陽の光で櫻並木の新緑がまぶしく感じられる天候の中、第20回地区茶の湯研修会を開催致しました。

今回は20回目の節目を迎えたことから、ロータリーの広報を兼ねて多数の市民の方にお茶を一服召しあがって頂くという趣向で、会場を「前橋プラザ元気21」にして、立礼式で行いました。

市民の方々約130名の参加があり、終了予定時間を30分オーバーする盛況で、ロータリーの広報の役割を十分果たせたのではないのでしょうか。

ロータリアンは牛久保ガバナー及び町田次年度地区幹事はじめ約30名の出席を頂き、受付や呼び込み、そして「さくら」などの手伝いを最後まで残ってして頂きました。一方、倶楽部員は席主を森田均バスターガバナー(裏千家)に務めて頂き、お点前は前橋北 RCの小山清さんと関口要さん(共に大日本茶道学会)、前橋東 RCの近藤日出夫さん(江戸千家)と私(表千家)の4名が担当しました。

お点前することが当日一週間前に決まりしかも未経験の立礼式だし、また何人程の市民の方に来場して頂けるか等不安の多い中本番を迎えました。が、案ずるより産むが易し、山田松仙先生(大日本茶道学会)のご指導の下、結姿の4名が交替で10席を無難に終えました。前橋中央 RCの井上芙美子さん(武者小路千家)には、山田松仙先生や森田バスターガバナー夫人(大日本茶道学会)と共に水屋やお運びの陣頭指揮を執って頂きました。女性ロータリアンやロータリアンのご夫人は水屋ではテキパキと、かたやお運びでは淑やかな仕種と、その役ごとの変身ぶり手際の良いさには感心しました。又、準備では立礼台や釜、茶器茶碗類一式を親松清子様からお借りました。以下は森田バスターガバナーがご用意下さり、また説明文も頂きました。

軸「清流無間断」

清い水が絶え間なく流れている、すがすがしい雰囲気を表した語。ロータリーの奉仕活動も、10年間、絶えることなく続いていることを、一般の市民の方々にも是非ご理解頂きたく、選んだ。

花 山吹 著我 都忘れ

「山吹をメインに著我(しゃが)を入れ、その2本の間の目立たないところにさりげなく清楚な都忘れを入れてみた。

花入 備前の鶴首

人間国宝伊勢崎淳の兄である伊勢崎満の作。あくまで脇役に徹してもらおうべく、渋い焼きめを用意した。

とにかく何も無い「元気21」の多目的フロアでの開催という事で、茶室の設営から始まり、道具組の持ち込み、設置等不安と苦勞の多い研修会でしたが、多くの方々のご協力、ご尽力のおかげで無事、しかも成功裡に終える事が出来ました。そして何より、流派やクラブが異っても一致団結して、どんな難題をも成功させる「さすがロータリアンとロータリー家族!!」

最後に、ご協力頂いた皆様方に深く感謝申し上げますとともに、これからも研修会が回を重ねて、この倶楽部が益々発展することを祈念申し上げますと報告と致します。

